

平成19年度事業報告

事業報告

1. 平成19年度優秀業績の表彰

平成19年度優秀業績については慎重に検討された結果、二木賞については該当者なしと決定された。また、以下の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

本村和嗣 氏（国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター） 他3名

「Genetic Recombination between Human Immunodeficiency Virus 1(HIV-1) and HIV-2, Two Distinct Human Lentiviruses」
(Journal of Virology Vol.82, No.4, 1923-33, 2008)

2. 講演会

平成19年4月10日、11日、京都市・国立京都国際会館において第81回学術講演会を笹田昌孝会長主宰のもとに開催した。

a	会員の業績研究発表		406題
	ワークショップ		123題
	ポスター		283題
b	特別講演		6題
1	自然免疫による病原体認識	大阪大学微生物病研究所自然免疫学分野 司会：東邦大学医学部微生物・感染症学講座	審良 静男 山口 恵三
2	Innate Immunity: Protecting the Interface Between Host and Pathogen	University of Colorado School of Medicine 司会：京都大学医学部保健学科	Richard Blr. Johnston, 笹田 昌孝
3	Role of Paired Immunoglobulin-like Receptors in Infection	Division of Developmental and Clinical Immunology, Department of Pathology, University of Alabama 司会：島根大学医学部微生物・免疫学教室	Hiroshi Kubagawa, 富岡 治明
4	「社会」と「私」をつなぐもの	文化庁文化財部伝統文化課 司会：北里大学医学部感染症学	小松 弥生 砂川 慶介
5	感染, Sickness Behavior, プロスタグランジン	京都大学医学研究科 司会：東京通信病院	成宮 周 木村 哲
6	生体防御論	九州大学 司会：大阪府立成人病センター/骨髄移植推進財団	野本 亀久雄 正岡 徹
c	シンポジウム		6題
1	病原微生物とhostを一体で扱った感染症治療	司会：京都大学医学部保健学科 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染分子病態学	笹田 昌孝 河野 茂
1)	細胞内寄生菌の病原性と宿主免疫応答：細菌と宿主のせめぎあい・凌ぎ合い	京都大学大学院医学研究科微生物感染症学	光山 正雄
2)	感染症の病態形成における好中球の功罪とその治療戦略	京都大学医学部保健学科	笹田 昌孝
3)	呼吸器感染症における病原因子抑制と宿主反応制御	長崎大学附属病院検査部	柳原 克紀
4)	感染症の重症化と生体防御反応	福井大学医学部病態制御医学講座内科学(1)	岩崎 博道
2	感染制御とチーム医療	司会：京都大学医学部臨床病態検査学 滋賀医科大学	一山 智 芳尾 邦子
1)	ICDの役割	大阪大学医学部附属病院	朝野 和典
2)	感染管理を戦略的に行う	医療法人鉄蕉会亀田総合病院感染管理室	古谷 直子
3)	抗菌薬適正使用における薬剤師の役割	東京女子医科大学病院薬剤部	木村 利美
4)	ICMTとしての感染制御活動	社会保険中央総合病院臨床検査部・感染制御チーム(現：亀田総合病院診療部臨床検査科) 北里研究所抗感染症薬研究センター	大塚 喜人
3	微生物と宿主：ポストゲノム研究の展開	司会：東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野 名古屋市立大学大学院医学研究科感染微生物分野	岩本 愛吉 中島 捷久
1)	インフルエンザウイルス遺伝子の変異と流行：抗原変異とコンピュータシミュレーション	名古屋市立大学大学院医学研究科感染微生物分野	中島 捷久
2)	HCVゲノムと治療に関わる宿主因子	山梨大学医学部第1内科	榎本 信幸
3)	CD63などのテトラスパニンとその変異体のHIV増殖抑制機構への関与	京都大学ウイルス研究所	小柳 義夫
4)	ゲノムから見た病原性細菌の進化と宿主防御機構との戦い	東京大学医科学研究所感染症国際研究センター感染制御部門細菌学分野	中川 一路
4	耐性・難治性感染症：菌側・生体側要因からの考察	司会：杏林大学医学部第一内科 東邦大学医学部微生物・感染症学	後藤 元 館田 一博
1)	気道感染症における生体防御の最前線	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	山中 昇
2)	難治性感染症における宿主免疫応答のdiversity	緑膿菌感染症を中心として 大分大学医学部感染分子病態制御講座(内科学第二)	門田 淳一
3)	菌側要因：病原因子と生体反応	東邦大学医学部微生物・感染症学	館田 一博
4)	プラスミド媒介性の薬剤耐性遺伝子の多様化	国立感染症研究所・細菌第二部	荒川 宜親
5	わが国における新型インフルエンザ対策	司会：富山県衛生研究所	倉田 毅

	国立感染症研究所感染症情報センター	岡部 信彦
	国立感染症研究所感染症情報センター	安井 良則
1) 公衆衛生対策について	国立感染症研究所ウイルス第3部	田代 真人
2) 新型インフルエンザ大流行対策におけるワクチンと抗ウイルス剤	国立国際医療センター国際疾病センター	川名 明彦
3) わが国における新型インフルエンザ対策 医療機関の対応	順天堂大学医学部公衆衛生学教室	丸井 英二
4) リスクコミュニケーション	司会：慶應義塾大学医学部救急部	相川 直樹
6 周術期感染症：host-parasite-drug relationshipからみた対策	東邦大学医学部外科学第三講座	炭山 嘉伸
	兵庫医科大学感染制御学	竹末 芳生
1) 米国のパスから学ぶ周術期感染対策	三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科学	楠 正人
2) 易感染性宿主における周術期感染症とその対策	北里大学医学部救命救急医学	相馬 一亥
3) VAPの現状と展望 耐性菌防止のために	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科感染症治療学	三嶋 廣繁
4) 婦人科領域の腹腔鏡下手術における感染対策	NTT西日本東海病院外科	品川 長夫
5) 特別発言		19題
d 教育講演		
1 新しい感染症診断検査法	九州大学医学部保健学科病態情報学	永淵 正法
	司会：(財)三萩野病院	澤江 義郎
2 栄養療法と嚥下食ピラミッド	浜松大学健康プロデュース学部健康栄養学科	金谷 節子
	司会：京都府立医科大学大学院感染免疫病態制御学	今西 二郎
3 身体障害者補助犬法と医療機関での補助犬受け入れ	横浜市総合リハビリテーションセンター	高柳 友子
	司会：日本赤十字社和歌山医療センター呼吸器科	西山 秀樹
4 非結核性抗酸菌症の診断と治療	国立病院機構近畿中央胸部疾患センター	鈴木 克洋
	司会：東北大学加齢医学研究所抗感染薬開発研究部門	渡辺 彰
5 PK/PD理論に基づく抗菌薬の適正使用とTDMの実践	同志社女子大学薬学部臨床薬剤学	森田 邦彦
	司会：京都薬科大学	西野 武志
6 高齢者の安全な抗菌薬化学療法	東京都老人医療センター感染症科	稲松 孝忠
	司会：NTT西日本東海病院外科	品川 長夫
7 深在性真菌症治療における抗真菌薬の選択と適正使用	昭和大学医学部臨床感染症学	二木 芳人
	司会：日本赤十字社長崎原爆諫早病院	斎藤 厚
8 感染防御と脂質免疫	京都大学ウイルス研究所	杉田 昌彦
	司会：大阪大学微生物病研究所細菌感染分野	本田 武司
9 地震災害と感染症	神戸大学大学院医学系研究科災害・救急医学分野	石井 昇
	司会：愛寿会同仁病院	谷村 弘
10 眼感染症 ヘルペスに焦点をあてて	近畿大学医学部眼科	下村 嘉一
	司会：藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院耳鼻咽喉科	鈴木 賢二
11 性感染症よ、どこへ行く 人類への脅威の一端なのか	神戸大学医学部附属病院手術部・感染制御部	荒川 創一
	司会：神戸赤十字病院	守殿 貞夫
12 感染症の臨床教育 抗菌薬適正使用のための教育	聖路加国際病院内科感染症科	古川 恵一
	司会：慶應義塾大学医学部内科学	増田 剛太
13 小児ウイルス性呼吸器感染症の最近の話題	札幌医科大学医学部小児科	堤 裕幸
	司会：神戸市立中央市民病院小児科	春田 恒和
14 抗菌薬の適正な使い方	東京女子医科大学感染対策部感染症科	戸塚 恭一
	司会：聖マリアンナ医科大学微生物学教室	嶋田甚五郎
15 予防接種の最新情報と今後の在り方	国立病院機構三重病院	神谷 齊
	司会：杏林大学	小林 宏行
16 肺感染症の画像診断 肺既存構造とその病変	福井大学医学部	伊藤 春海
	司会：岐阜医療科学大学	木村 吉延
17 本邦に於けるE型肝炎ウイルス感染の特徴	東芝病院研究部	三代 俊治
	司会：東京慈恵会医科大学感染制御部	小野寺昭一
18 皮膚軟部組織感染症，特にMRSA感染症に対する対処法	帝京大学医学部皮膚科	渡辺 晋一
	司会：帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科	川名 尚
19 感染防止における看護師とICNの役割	慶應義塾大学病院	高野八百子
	司会：慶應義塾大学医学部中央臨床検査部	小林 芳夫
e ランチョンセミナー		10題
1 上気道感染症はなぜ治りにくくなったのか 細菌はしたたかである	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	山中 昇
	司会：長崎大学	原 耕平
2 実践 小児急性中耳炎診療 新しい「ガイドライン」の活用法	旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	林 達哉
	司会：医療法人社団順風会杉田耳鼻咽喉科	杉田 麟也
3 臨床現場で、予防接種	亀田総合病院感染症内科	岩田健太郎
	司会：長崎大学	松本 慶蔵
4 グローバル化時代の感染症診療 ニューアングル・ニューアプローチ	自治医科大学附属病院感染制御部	五味 晴美
	司会：京都大学大学院医学研究科呼吸器内科	三嶋 理晃
5 感染防御における液性免疫の最近の知見	信州大学医学研究科移植免疫感染症学講座	上松 一永
	司会：帝京大学医学部附属溝口病院第四内科	吉田 稔
6 抗菌薬の好中球機能修飾作用	帝京大学医学部微生物学	斧 康雄
	司会：桜みちクリニック	永武 毅
7 感染症治療における注射用抗生薬の位置づけを考える	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科感染症治療学	三嶋 廣繁
	司会：NTT西日本東海病院	品川 長夫

- 8 注射用ニューキノロン薬～いつ、どのような症例に、どう使うか～ 東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍研究分野 渡辺 彰
 司会：東邦大学医学部微生物・感染症学講座 山口 恵三
- 9 改訂の進む呼吸器感染症診療ガイドライン 昭和大学臨床感染症学講座 二木 芳人
 司会：信楽園病院内科 青木 信樹
 千葉大学真菌医学研究センター 亀井 克彦
 司会：東北大学医学部附属病院検査部 賀来 満夫
- 10 深在性真菌症における最近の展開と対策
- f イブニングセミナー
- 1 ガイドラインからみた外科救急領域における深在性真菌症の診断と治療 兵庫医科大学感染制御学 竹末 芳生
 司会：慶應義塾大学病院 相川 直樹
- 2 院内感染症 - その治療と対策 - 埼玉医科大学感染症科・感染制御科 前崎 繁文
 司会：東京女子医科大学感染対策部感染症科 戸塚 恭一
 日本医科大学救急医学講座 久志本 成樹
- 3 新規感染症診断項目プロカルシトニン (PCT) について 司会：東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部 池田 寿昭
- g インターラクティブカンファレンス
 目で見る感染症 オーガナイザー：長崎大学 河野 茂
 倉敷第一病院 松島 敏春
- h ICD講習会
 病原微生物とホストを一体で捉える 司会：奈良県立医科大学感染症センター 三笠 桂一
 1) 基礎医学の立場から 奈良県立医科大学細菌学教室 喜多 英二
 2) 微生物検査室の立場から 横浜市立大学臨床検査部 満田 年宏
 3) 治療の立場から 自治医科大学感染制御部 五味 晴美
 4) 予防の立場から 国立感染症研究所感染症情報センター 多屋 馨子
 5) 病原微生物とホストを一体で捉えたICD活動とは 佐賀大学医学部検査部 青木 洋介

平成19年10月21日京都大学百周年時計台記念館において朝日・大学パートナーズシンポジウム「感染症を迎え撃つ - 明日からあなたにできること - 」を共催した。

- 基調講演1 「新たな感染症時代を迎えて」 日本感染症学会理事長 砂川 慶介
 基調講演2 「感染症から健康づくりを考える」 京都大学大学院人間健康科学系専攻教授 笹田 昌孝
 パネルディスカッション インフルエンザに備える コーディネーター：朝日新聞編集委員 中村 通子
 ・インフルエンザの脅威 国立感染症研究所感染症情報センター長 岡部 信彦
 ・子供がインフルエンザにかかったとき 国立病院機構東京医療センター統括診療部長 岩田 敏
 ・高齢者がインフルエンザにかからないために 大阪大学医学部附属病院教授 朝野 和典
 ・生体防御力 京都大学大学院人間健康科学系専攻教授 笹田 昌孝

3. 雑誌刊行

感染症学雑誌 第81巻1号より逐次刊行した。
 Journal of Infection and Chemotherapy Vol.13, No.1より逐次刊行した。
 地方会学術集会プログラムを感染症学雑誌に掲載。

4. 地方会

- ・第56回東日本地方会学術集会は、平成19年10月26日、27日の両日、稲松孝思会長のもとで第54回日本化学療法学会東日本支部総会（堀 誠治会長）と合同で東京都・東京ドームホテルで行われた。
 会長講演 2題、シンポジウム 3題（内ICD講習会1題）、教育講演 2題、緊急報告 1題、ランチョンセミナー 12題、サテライトセミナー 2題、ベーシックレクチャー 1題
 一般演題 158題
 参加人数 1157名
- ・第50回中日本地方会学術集会は、平成19年10月30日、31日の両日、春田恒和会長のもとで第55回日本化学療法学会西日本支部総会（荒川創一会長）と同時期に神戸市・神戸国際会議場で行われた。
 イブニングセミナー 1題、特別講演 1題、記念講演 1題、教育講演 10題、合同シンポジウム 1題、シンポジウム 1題、レクチャーセッション 7題、教育セミナー 12題、ICD・ICP講習会 1題
 一般演題 100題
 参加人数 986名
- ・第77回西日本地方会学術集会は、平成19年11月15日、16日の両日、長澤浩平会長のもとで佐賀市・ホテルニューオタニ佐賀で行われた。
 特別講演 1題、招請講演 1題、会長講演 1題、シンポジウム 1題、教育セミナー 3題、行政の予防戦略 1題、ICD講習会 1題、ランチョンセミナー 5題
 一般演題 84題
 参加人数 281名

5. 院内感染対策講習会

1) 講習場所、期間及び人員

1. 医療機関における指導的立場を担う医療従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

札幌医科大学大講堂	(医師)	平成19年 10月15日、16日	38名
	(看護師)	平成19年 10月15日、16日	41名
	(薬剤師)	平成19年 10月15日、16日	45名
	(臨床検査技師)	平成19年 10月15日、16日	32名

大田区民プラザ大ホール	(医師)	平成19年	10月11日、2日	94名
	(看護師)	平成19年	10月11日、12日	102名
	(薬剤師)	平成19年	10月11日、12日	102名
	(臨床検査技師)	平成19年	10月11日、12日	77名
名古屋銀行協会大ホール	(医師)	平成19年	10月 2日 3	97名
	(看護師)	平成19年	10月 2日、 3日	104名
	(薬剤師)	平成19年	10月 2日、 3日	112名
	(臨床検査技師)	平成19年	10月 2日、 3日	78名
九州大学医学部百年記念講堂	(医師)	平成19年	11月 8日、 9日	51名
	(看護師)	平成19年	11月 8日、 9日	55名
	(薬剤師)	平成19年	11月 8日、 9日	57名
	(臨床検査技師)	平成19年	11月 8日、 9日	42名
2. 地域における医療連携を重視し、地域全体で院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会				
仙台市情報・産業プラザ 多目的ホール	(医師)	平成19年	11月26日、27日	34名
	(看護師)	平成19年	11月26日、27日	35名
	(薬剤師)	平成19年	11月26日、27日	33名
	(臨床検査技師)	平成19年	11月26日、27日	24名
パシフィコ横浜アネックスホール	(医師)	平成19年	10月 9日、10日	57名
	(看護師)	平成19年	10月 9日、10日	106名
	(薬剤師)	平成19年	10月 9日、10日	73名
	(臨床検査技師)	平成19年	10月 9日、10日	62名
なら100年会館	(医師)	平成19年	9月27日、28日	64名
	(看護師)	平成19年	9月27日、28日	120名
	(薬剤師)	平成19年	9月27日、28日	52名
	(臨床検査技師)	平成19年	9月27日、28日	59名
長崎市医師会館	(医師)	平成19年	10月13日、14日	39名
	(看護師)	平成19年	10月13日、14日	52名
	(薬剤師)	平成19年	10月13日、14日	35名
	(臨床検査技師)	平成19年	10月13日、14日	30名
				合計 2002名

2) 講習内容

(医師)	医療機関における感染制御	50分
	高齢者介護施設における感染制御	45分
	看護における感染対策(環境整備を含む)	50分
	洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	50分
	院内・施設内感染関連法令	40分
	院内感染関連微生物(新しい話題の感染症の種類と特徴を含む)	50分
	抗菌薬適正使用と耐性菌感染症(PK/PD、TDM)	45分
	呼吸器感染対策	40分
	血液媒介感染対策(肝炎対策、職業感染を含む)	45分
	ウイルス感染対策(腸管感染症、ワクチンを含む)	45分
	医療器材関連感染(カテーテル感染を含む)	40分
	周術期感染対策	40分
	院内感染対策のシステム化	1時間
	パネルディスカッション	1時間
(看護師)	医療機関における感染制御	50分
	高齢者介護施設における感染制御	45分
	看護における感染対策(環境整備を含む)	50分
	洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	50分
	院内・施設内感染関連法令	40分
	院内感染関連微生物(新しい話題の感染症の種類と特徴を含む)	50分
	抗菌薬適正使用と耐性菌感染症(PK/PD、TDM)	45分
	呼吸器感染対策	40分
	血液媒介感染対策(肝炎対策、職業感染を含む)	45分
	ウイルス感染対策(腸管感染症、ワクチンを含む)	45分
	医療器材関連感染(カテーテル感染を含む)	40分
	周術期感染対策	40分
	院内感染対策のシステム化	1時間
	パネルディスカッション	1時間
(薬剤師)	医療機関における感染制御	50分
	高齢者介護施設における感染制御	45分
	看護における感染対策(環境整備を含む)	50分
	洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	50分
	院内・施設内感染関連法令	40分
	院内感染関連微生物(新しい話題の感染症の種類と特徴を含む)	50分
	抗菌薬適正使用と耐性菌感染症(PK/PD、TDM)	45分

	呼吸器感染対策	40分
	血液媒介感染対策（肝炎対策、職業感染を含む）	45分
	ウイルス感染対策（腸管感染症、ワクチンを含む）	45分
	医療器材関連感染（カテーテル感染を含む）	40分
	周術期感染対策	40分
	院内感染対策のシステム化	1時間
	パネルディスカッション	1時間
（臨床検査技師）	医療機関における感染制御	50分
	高齢者介護施設における感染制御	45分
	看護における感染対策（環境整備を含む）	50分
	洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	50分
	院内・施設内感染関連法令	40分
	院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）	50分
	抗菌薬適正使用と耐性菌感染症（PK/PD、TDM）	45分
	呼吸器感染対策	40分
	血液媒介感染対策（肝炎対策、職業感染を含む）	45分
	ウイルス感染対策（腸管感染症、ワクチンを含む）	45分
	医療器材関連感染（カテーテル感染を含む）	40分
	周術期感染対策	40分
	院内感染対策のシステム化	1時間
	パネルディスカッション	1時間

3) 院内感染対策講習会Q&A 発行（ホームページ掲載）。

6. 施設内MRSA対策相談窓口業務

平成19年 3月1日～平成19年3月31日	質問件数	2件
平成19年 4月1日～平成20年2月29日	質問件数	77件

7. 感染症専門医

1) 感染症専門医試験合格者 52名

（敬称略）

東 桃代	阿部 修一	石田 正之	猪股慎一郎	大西 司	奥川 周	奥田真珠美	笠井 昭吾
柏木謙一郎	柏木 保代	加藤 哲朗	金森 修三	川原 弘	岸 建志	具 芳明	工藤 誠
小泉 祐介	鯉淵 智彦	門 康博	小西 龍也	小山 和彦	齋藤 孝仁	齋藤 若奈	佐藤 厚夫
佐藤 文哉	白井 亮	鈴木 克典	関 雅文	田内 久道	高尾 匡	竹末 芳生	立川 夏夫
長尾 美紀	中下 珠緒	中村 茂樹	西巻 雄司	丹羽 俊朗	貫井 陽子	能勢 裕久	長谷川直樹
藤井 毅	古本 朗嗣	本田 孝行	又野 禎也	松木 裕暁	丸山 哲弘	光武耕太郎	望月 康弘
森 昭裕	森 毅彦	山岸 義晃	山本 和子				

2) 更新者 141名

3) 指導医 548名

4) 感染症専門医認定研修施設 189施設（ホームページ参照）

8. ICD制度協議会

新規認定者 207名 更新者 646名

庶務報告

1. 会員数 9936名 平成20年2月29日現在
2. 第81回日本感染症学会総会は平成19年4月10日、国立京都国際会館において行った。
3. 平成19年度評議員会は平成19年4月10日、国立京都国際会館において行った。
4. 理事会は5回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は6回行った。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は11回行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医制度審議会は4回行った。専門医試験委員会は4回行った。専門医テキスト委員会は2回行った。
8. 日本血栓止血学会ガイドライン外部評価委員会を1回行った。
8. 学会あり方委員会は1回行った。
9. 経理事務打合せ会は1回行った。